

優れた医薬品創出へ

静岡で製剤機械
技術学会が開幕

製剤機械技術学会の第
21回大会（実行委員長・
板井茂 県立大教授）が13
日、静岡市駿河区谷田の
県立大で始まり、県薬事
課の田中喜久夫薬事審査
班長が、全国の大学研究



講演する田中班長
—静岡市駿河区の県立大

者や製薬会社の担当者ら
約230人を前に特別講
演を行った。

同学会が前身の製薬機
械技術研究会から一般社
団法人に移行して初の大

会で、テーマは「優れた
医薬品を創出する製剤機
械技術」。

田中班長は「静岡県に

おける医療健康産業振興
と薬事行政の取組」と題
し、県東部で進めている
ファルマバレープロジェ
クトなどの事業や、医薬
品製造業の監視指導など
の業務について説明し
た。製品の保管場所や従
業員教育の方法などを監
視指導することを紹介し
た上で、「規制するだけ
でなく、新たな製品を生
み出せるよう働きかけて
いきたい」と力を込めた。

大会は14日まで。